

## 実写真による仮想空間(Simple Walker)の実用化研究

総合情報学部 情報科学科 劉研究室

株式会社両備システムズ 三宅新二

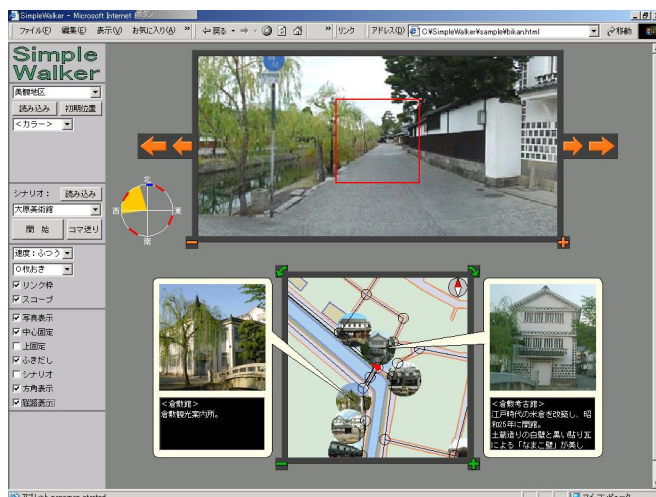
Keyword : 仮想空間、経路探索

### 1. 研究の目的

身近な風景を、リアリティの高い仮想空間として手軽に作成し、自由に散策できる Simple Walker を両備システムズで開発した。この仮想空間を、もっと使いやすく、わかりやすくすることで、さらなる拡販が可能である。岡山理科大学との共同研究により、仮想空間の作成、利用に関する問題点の整理、わかりやすい道案内、写真のわかりやすい提示方法など、実用化を目指した研究を行っている。

### 2. Simple Walker の特徴

実際の空間を「交差点」と「道」に分離して表現するものである。パノラマ写真で「交差点」を表現し、数メートル間隔で撮影した連続写真で「道」を表現する。地図を利用することにより、パノラマ写真の向きなどを自動計算でき、ウォークスルーできる仮想空間を簡単に構築できる。現環境を保存する手法として有効である。また、季節、天候などの条件で、提示する写真を切り替えることも可能である。



### 3. 応用の可能性

実際の道、交差点を写真で提示するため、目標物の指示がわかりやすく、繰り返し確認することも可能であり、その場の環境を示すのに最適であると考えられる。

岡山理科大学の構内を仮想空間として構築し、問題点を整理し、経路探索の実用化、効果的な提示方法など、実用化に向けた改善を進め、他大学や病院などへの応用を予定している。